

## 第1部

ホイベルガー：オペレッタ「オペラ舞踏会」序曲

ホイベルガー：オペレッタ「オペラ舞踏会」から「別室へ行きましょう」(二重唱)

レハール：オペレッタ「メリー・ウィドウ」から「メリー・ウィドウ・ワルツ」

レハール：オペレッタ「ジュディッタ」から

“友よ、人生は生きる価値がある”(テノール)

スッペ：オペレッタ「ボカッチオ」からメヌエットとタランテラ

J.シュトラウスII：オペレッタ「こうもり」から

チャールダーシュ“ふるさとの調べよ”(ソプラノ)

リスト：ハンガリー狂詩曲第2番

## 第2部

J.シュトラウスII：オペレッタ「ジブシー男爵」序曲

オスカー・シュトラウス：ワルツの夢

J.シュトラウスII：オペレッタ「千夜一夜物語」から 間奏曲

カールマン：オペレッタ「チャールダーシュの侯爵夫人」序曲

カールマン：オペレッタ「チャールダーシュの侯爵夫人」から  
“踊りたい”(二重唱)

ブラームス：ハンガリー舞曲 第3・4・6・10番

エルガー：行進曲「威風堂々」第1番



### 浮ヶ谷孝夫 (指揮) Takao UKIGAYA, Conductor

1953年埼玉県川口市生まれ。世界の最前線でタクトを振る日本を代表する指揮者の一人。1978年に渡独してベルリン芸術大学指揮科のヘルベルト・アーレンドルフ教授に師事。カラヤン、ハンガリー、両国際指揮コンクールで受賞。1986年にはボメラニアン・フィル(ポーランド)のドイツ演奏旅行の指揮者に抜擢され、欧州でデビューを果たした。1987年より、同オーケストラの専属指揮者に就任。多数のドイツ演奏旅行やCD録音で高い評価を得ている。1989年より「ハノーファー北ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団」と多数のCD録音。「ポーランド国立放送交響楽団」の専属客演指揮者。1996年に「ドイツ・フィルハーモニー・フンガリカ」日本ツアー。1999年に「北西ドイツ・フィルハーモニー」日本ツアー。2001年、2005年、2019年、「ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト」と日本ツアー。2003年には同楽団の首席客演指揮者に就任。2010年より愛知県豊橋市の「豊橋青少年オーケストラキャンプ」を立上げ、毎年多くの演奏家の育成に尽力。2013年より東京都主催「歴史的建造物保全プロジェクト・マエストロ浮ヶ谷プロデュース・コンサート」を担当。N響、新日フィル、日フィル、東フィル、名フィル、東京シティ・フィル、東京ニューシティ管、日本センチュリー響などと共演。多くのファンを持つ指揮者。2019年8月に東京21世紀管弦楽団の音楽監督に就任。ドイツ在住。



### 佐藤美枝子 (ソプラノ)

Mieko SATO, Soprano

武蔵野音楽大学卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第9期生修了後、ローマに留学。1997~99年五島記念文化財団の奨学生として再渡伊。第30回日伊声楽コンクール第2位。第64回日本音楽コンクール第1位。同時に増沢賞、海外派遣特別賞受賞。第11回チャイコフスキー国際音楽コンクール第1位。第7回五島記念文化賞オペラ新人賞。第9回出光音楽賞。第10回新日鐵音楽賞フレッシュアーティスト賞。第2回ロシア歌曲賞。第3回下總統一音楽賞。第50回ENEOS音楽賞洋楽部門本賞受賞。1995年ローマにて「リゴレット」ジルダ、99年新国立劇場「カルメン」ミカエラで注目を浴び、2000年藤原歌劇団「ルチア」のタイトルロールでデビュー以降、ベルカントオペラを中心に日本を代表するプリマ・ドンナとして華々しく活躍している。これまでに「ああ、信じられないわ〜オペラ・アリア集」など全7枚のCDをリリース。藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。大分県出身。



### 村上敏明 (テノール)

Toshiaki MURAKAMI, Tenor

国立音楽大学卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第17期生修了。2001年文化庁派遣芸術家在外研修員として、04年から五島記念文化財団奨学生として渡伊。第13回フランチェスコ・アルバネーゼ国際声楽コンクール、第9回マダム・パタフライ世界コンクール優勝。国内でも、第40回日伊声楽コンクール第1位、第35回イタリア声楽コンクール・シエナ大賞など多数受賞。02年オルヴィエートのマンチネリ劇場公演「リゴレット」のアントニオ公爵でイタリアデビュー。藤原歌劇団には、05年「ラ・トラヴィアータ」のアルフレードでデビューを飾り、「蝶々夫人」「ラ・ボエーム」「ルチア」「仮面舞踏会」「トスカ」「愛の妙薬」「イル・トロヴァトーレ」「リゴレット」「ファウスト」等、プリモテノールとして多数公演に出演。その他、新国立劇場、NHKニューイヤーオペラコンサート等、多数のオペラやコンサートで活躍している。第15回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。藤原歌劇団団員。東京都出身。

## 東京21世紀管弦楽団 Tokyo 21c Philharmonic

音楽を通して、多くの人達と手を携え、今までの固定観念にとらわれない新しい時代の「楽しいオーケストラ」を目指して演奏活動を進めて行くプロフェッショナルなオーケストラとして2019年に設立。浮ヶ谷孝夫(ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト首席客演指揮者)を音楽監督に迎え、定期演奏会では、ベートーヴェン、ブラームス、ブルックナー、シューベルトといった重厚なドイツ音楽で圧倒的な成功を収めている。また、青少年のための音楽鑑賞会の依頼公演に出演するほか、教育的活動にも積極的に参加し、多彩で幅広い音楽活動を展開している。クラシック音楽を広く普及させる自主公演、定期公演は東京芸術劇場を拠点とし、紀尾井ホール、サントリーホール、東京オペラシティコンサートホールなど都内の主要なホールで活動をしている。2019年オス

カー新人賞を受賞したテノールのステファン・ポップ、オペラ界のビッグスター、ファン・ディエゴ・フローレス、ヴィットリオ・グリゴロとの共演。2021年、オペラシティにて行われたベートーヴェン「第九」は、満席の聴衆を魅了し大成功を収めた。2022年6月、第18回ショパン国際コンクール第3位入賞のマルティン・ガルシア・ガルシアとの協奏曲の夕べ、同年8月東京国際フォーラムホールAでのミュージカル「ラ・ラ・ランド」6回公演、11月オーチャードホールで「BBC PROMS」に出演し好評を博した。12月東京芸術劇場にて「第九」公演は多くの聴衆から高く評価された。2023年1月「ホセ・カレーラス&ブラシド・ドミンゴ」コンサートに出演し好評を博すなど、その活動の場を広げている。

